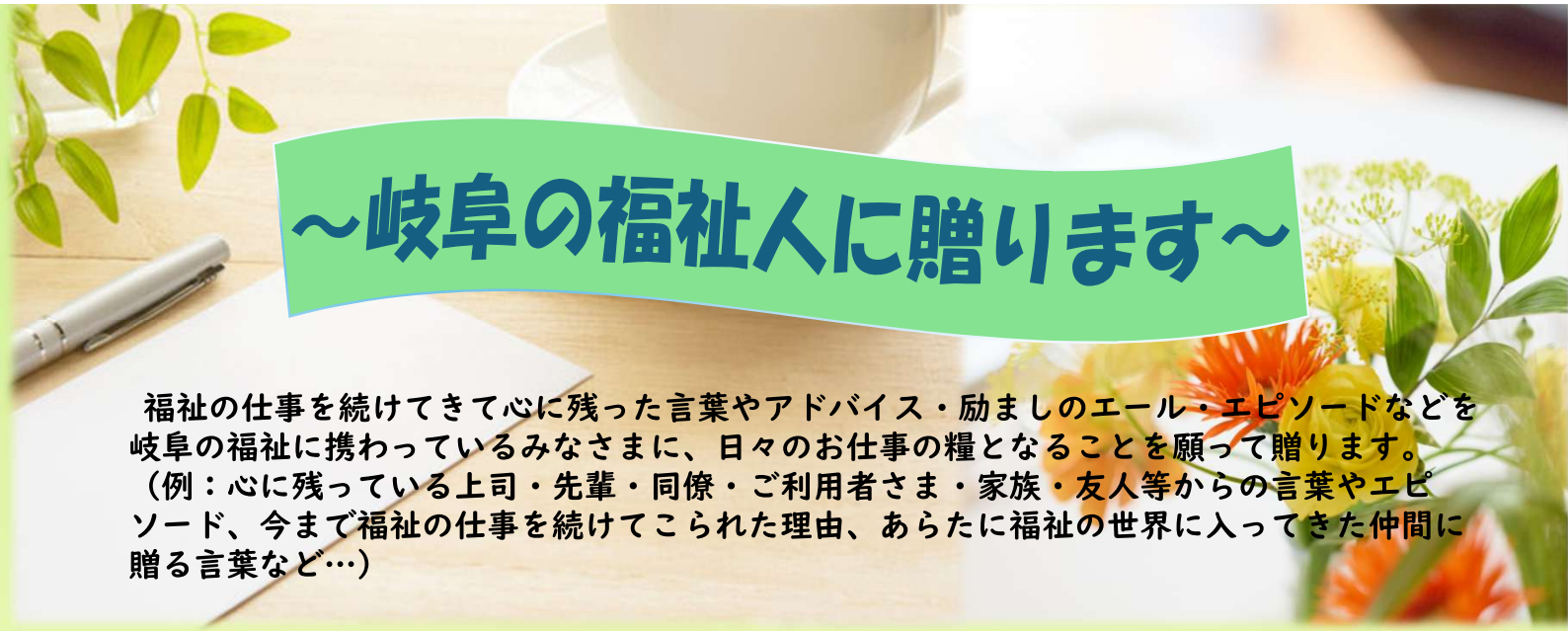


～岐阜の福祉人に贈ります～

福祉の仕事を続けてきて心に残った言葉やアドバイス・励ましのエール・エピソードなどを岐阜の福祉に携わっているみなさまに、日々のお仕事の糧となることを願って贈ります。
（例：心に残っている上司・先輩・同僚・ご利用者さま・家族・友人等からの言葉やエピソード、今まで福祉の仕事を続けてこられた理由、あらたに福祉の世界に入ってきた仲間に贈る言葉など…）

☘ いただいたお手紙に…

私が以前勤めていた障がい者支援施設で、私が退職する時に、ダウン症の男性利用者の方から「はなれていても　この空はつながっているよ」とメッセージが書かれたお手紙をもらいました。今もこの言葉は私の宝物です。

☘ 今までやってこれた理由

ご利用者の人生にかかわり、笑顔にできるか、楽しくできるか？を考えること。何よりも「ありがとね」「あなたが担当でよかった」等言っていただけたことが今までやってこれた理由だと思う。

☘ 先輩の言葉を思いながら…

介護とは、「利用者さまが自分たちと同じ、当たり前の生活を送るためのお手伝いをすること」という先輩の言葉、介護をはじめて数カ月の頃のことです。今でもそう思いながら仕事をさせて頂いています。

☘ 私が楽に働けるようになった利用者のある言葉

若い時、認知症や障がいのある方の対応に日々追われ、どうしたらいいのか悩んでいた時、利用者の「人それぞれやもんな」と明るく言われ、「そうだな」と素直に思えた。その後は「人それぞれだから仕方ない」と何に対しても思えて、楽に働けるようになった。

☘　ご家族さまから感謝の言葉をかけられて・・・

　長年高齢者介護をしてきて、たくさんの方との別れも経験してきました。できていた事がだんだんとできなくなっていく事、失われていく事は悲しいことです。そんな中私たち介護職にできることを毎回話し合い利用者様に関わっていくのですが、心が痛くなってしまうこともちろんあり、悩んだりどうしていいかわからない時もありました。でも最期の時を迎え、ご家族から感謝の言葉をかけられたときはとても嬉しかったです。お葬式の時に弔辞で御礼を言っていただいたことが嬉しかったです。

☘ 先輩と利用者の方々に教えられ…

私は全く別の業種から転職しましたが、今まで福祉の仕事を続けてこられたのは、先輩と利用者の方々に丁寧に教えていただいたからです。私も後輩には丁寧に教えてあげたいですし、これからも謙虚な気持ちで一生学んでいきたいです。

☘ 年齢や国籍がさまざまでも…

　一緒に働いている仲間の年齢の差や国籍も様々であるが、利用者さんを中心にして家族様とともに雑談をしている姿をみると嬉しくなります。（外国人介護士と日本人介護士、家族と利用者で、レクで歌を歌ったときに、その後話題になり笑顔になった。）

☘ 私がお伝えしたいこと

　私は就労継続支援A型事業所に勤務しています。あらたに福祉のお仕事に入られるみなさんには、「利用者の小さな変化を大切にしてください」とお伝えしたいです。すぐには成果は見えませんが、利用者の方が事業所で作業をしたり、人間関係を経験する中で少しずつ成長し自信を持ち、地域生活や一般就労への一歩を踏み出す姿を見るたびに、この仕事の意義を感じます。利用者とともに悩み、喜び、成長できることが福祉の仕事の魅力だと思います。

☘ 私のやる気につながる言葉

　日々忙しく、大変なことも多いですが、利用者様と関わっていくことで「ありがとう」や「あなたがいてくれて良かった」「安心できる、これからもよろしくね」など何気ない言葉が私のやる気につながっていると感じています。しんどいことがあっても、人と人とのコミュニケーションなので、関わり方を学んで、より良い介護ができるようにしたいと思いました。

☘ 上司の言葉

施設長とお話する機会があり、不安や悩みを打ち明けることができました。一人で抱えてはいけないんだなと思いました。
この仕事を始めた時に、当時の上司から「利用者様は、人生の大先輩。いろいろなことを先輩から吸収して敬う心を忘れないように」と言われたとき。

☘ 自身の生活に役立てながら…

私は10年程福祉に関わっております。続けてこれた理由は、夫婦で障がい福祉のことに興味を持ち、それぞれが放課後等デイサービスと就労継続支援で障がい福祉を学びながら、自身（家庭）の生活に役立てていきたいと感じているからです。
今では娘も特別支援学校に通い、卒業後一人暮らしをするために家事やアルバイトを頑張っています。そんな姿に成長を感じながら、応援を続ける日々を過ごしております。

☘ 心に残るご家族の言葉

利用者さんを看取った際、ご家族より「ありがとうございました」とお礼を言われた言葉が心に残っています。

☘心がつながる瞬間

今の施設に異動になってすぐ、精神疾患のある担当利用者の方から「〇〇さん（私）はありがとうや助かった時ポジティブな言葉をたくさんかけてくれる。心があったかくなる。」という言葉をいただきました。以前いた施設でも知的障がい（重度）の方が多く、言葉はありませんが心がつながる瞬間があったり、利用者さんからあたたかい気持ちをもらってこれて15年近く続けてこれたと思います。

☘守るということ

「俺がしたことにしていい」とすべてを守ってくれた。僕もできる限り後輩を守りたい。

☘ 研修より…

人対人の仕事で介護をしたくて働き始めたのに人間関係で悩んで辞めるなんてもったいないと思うので、人間関係に悩まない様に自分なりに直せるところを直していくと良い。自分を躓かせるハードルは自分の中にある←研修より

☘ 刺さった言葉は「辛抱」

数年前、自分の立ち位置・仕事に躓いて悩んでいた時に退職された先輩職員にその気持ちを打ち明けたところ、まさかの「辛抱よ」という一言。昭和チックだな（笑）とその時は思いましたが、まさか何年もその言葉に支えられてくるとは。それから何かあっても「辛抱だ」と自分自身言い聞かせ、目標を持って仕事に邁進してきました。なぜそれほど刺さったのはまったく定かではありませんが、紆余曲折ありながらも今の自分があるのは「辛抱」という一言のおかげなのです。しかしながら、これを後輩に伝えようとは思っていませんが（笑）

☘ 信頼関係が出来て…

ご利用者の主介護者に対して、連絡帳や口頭で「お身体ご自愛くださいね」などの労いの言葉がけをしていたところ、信頼関係の構築につながり、異動することが決まったことを伝えた際に「あなたの言葉に幾度もすくわれた。次の施設でも同じように救いを待っている人がいるかもしれない。その人の支えになってあげてね」と言われて心が温かくなった。

☘「いいかげんがいい加減」

利用者様から「いいかげんがいい加減」という言葉をいただいた。体調を崩し休職した際改めて思い返して、今仕事に向き合えています。

☘ みんながほめてくれるから

介護職は若い子などに仕事にするにはあまりいいイメージがないみたいなのですが、大変なこともありますが自分はお金のために、とか嫌々仕事しているわけではありません。そんな姿を見て自分の両親、義父母、夫は、褒めてくれるんです。よくやっていると。それだけで、今も頑張れています。

☘ 突然もらった手紙

話すことができない利用者様がおり、普段から自分とも話さないので何を考えているかわからなかったが雰囲気で親しくはさせてもらっていた。年をとって元気がなくなっていく中、亡くなる前に突然手紙をもらった。

今まで良くしてくれてありがとう。的なことが書いてあり、自分のやってきたことは間違っていなかったんだなと思い自然と目頭や胸が熱くなった。

☘ 仲間に感謝

福祉・介護に携わる方に・・・今自分が優しく丁寧に対応していくことができれば、将来自分の親、自分自身も同じように接してもらえると思うよ。と言葉をかけてくれる仲間に感謝しています。

☘私に出来ることを…

私は身体に障害を持っていて、正職員として福祉の仕事をしています。今までは同じ種類の障害でないと他の障害を持った方の気持ちはわからないと思っていました。もちろん、実際に困っていることや助けてほしいときなど、具体的なことは同じ障害でないとわからないこともあると思います。でもそうではなく、障害をもっているというだけで、障害という点では同じなので、なんとなくですが気持ち的に安心感があります。同じ種類の障害でなくても、障害者同士で通ずるところがあるというか。そんな方たちに寄り添いながら私に出来ることをこれからも精一杯やっていきたいと思います。

☘ motivation

Working in welfare has taught me that even a small act of kindness can make someone smile. Seeing the residents happy gives me motivation to do my best every day.

福祉の仕事を通じて、小さな親切の行為でも人を笑顔にできることを学びました。入居者たちが幸せそうにしているのを見ると、毎日ベストを尽くすモチベーションになります。

☘色々な年齢の人と…

人と人が関わる仕事でほとんどが年上なので、人間性や人とのかかわり方が勉強できる。介護士のため、みんなやさしく対応してくれる。色々な年齢の人と会話出来て楽しいし嬉しいです。

☘ ぜひご一考を…

他職種より介護・福祉の仕事へ移って来ましたが、テレビなどで特集されるような大変な仕事、厳しい仕事といった面ではなく、人を助ける優しい仕事であることを実感しております。忙しい時もありますが、職員個人で対応しなければならないことはほとんどなく、チームとして行うことが多いです。世情に左右されない仕事です、ぜひご一考ください。

☘職場、家でも「ありがとう」

色々なことが現場でおこります。何も日々無駄はなく、今日も新しい知識が入り感謝です。この頃何かあると、職場、家でも「ありがとう」というようにしています。一人では生きていけず、困ったら皆をまきこむようにしています。一日一日、小さな喜びを、笑顔で寝る。

☘ 私のやる気につながる言葉

「あんたが来るとホッとする。冗談言いながら笑えるで。たまには笑わんと。笑う門には福来る。」とご利用者様に言われてうれしかったです。

☘次は後輩に…

新人の頃、分からないこと等丁寧に教えてくれて、お礼を伝えたら「いいよ。次は後輩の子に優しくしてあげてね」と言われたこと。

☘ 「ありがとう」がすべて

利用者さんからの「ありがとう」が一番の励みになります。
人との関りを大切にしたいという思いでこの職種を選んだので「ありがとう」がすべてです。嬉しくもあり、この先のパワーをもらいます。

☘ 入社３年間で何を学ぶか

何も知らなかった１年目は苦しかったが、専門的な知識を得たり、利用者さんのこれまでの生活を知る事で支援が楽しくなった。入社３年間で何を学ぶかが大切と先輩に言われたが、その通りだと思う。

☘ありがとうと声に出す

いつも人に頼ることが出来ないので、無理な時は声かけしたり、チームワークが大切なので常に感謝な気持ちを持つこと、ありがとうと声に出していこうと思いました。

☘ 先輩に言われた言葉

職場の先輩からの言葉です。就職して1年になるころに「とても毎日頑張っている。しっかり見ているよ。何かあれば守るから」と言われた言葉が私はとても励みになりました。より一層頑張ろう！と思える言葉です。

☘ お礼のお手紙

たまたま病院で利用者様に会い、車椅子から車への移譲に困っていらしたのでお手伝いさせていただきました。その後、わざわざ施設へお手紙でお礼を言われた事です

☘ 行事の準備中の先輩の言葉

職に就いた当初、行事の準備中に先輩から「利用者さんに、いかに楽しんで貰うかだよ」と言われた事を行事の度思い出し、楽しんで貰えたかなぁと思っています。

☘恩師の言葉

業務内容の中で自分なりの小さな喜びをみつけて、自分自身がそれを大切にすること。恩師の言葉「汝らのこの小さき者の力をも慈しみて侮るなかれ」

☘ こども達が教えてくれる

尊敬する先生より、「アプローチが上手くいったかは、子ども達（利用者）が教えてくれるよ。」子ども達の反応を見なさいという意味を込めてもらったアドバイスです。

☘利用者さんの方から…

ほとんど関りのなかった利用者さんに関わっていくうちに、利用者さんの方から関わってきてくれた時、コツコツやってきてよかったな、と思った。

☘ 常に勉強という思い

今まで福祉の仕事を続けてこられた理由は、利用者一人一人が疾患や障害が違い、関わり方も個別で、常に勉強という思いで業務をおこなっている。そこにやりがいを感じ続けてこられていると思う。

☘ 後輩育成していく際に…

リーダーとして不安があり、これで良いのかと思いながら業務していましたが、上司のコメントをみてこれで良かったのだ、きちんと評価されている、期待されているなど今後の仕事へのやりがいや励みになりました。今後後輩育成していく際に、やる気を上げれるよう、良いところや強みなど「褒める」事をしながら次のリーダーを育てていきたいです。

☘ ご飯や薬を…

関係性が作れていないとご飯を食べて頂けない方がいて、悩んでいるときに上司の方が親身に相談にのってくださりました。また、その方と関わる機会も多くいただき、半年ほどでごはん、薬を食べていただけるようになった際は、とても嬉しかったです。

☘ ぜひ続けていって

福祉の仕事は大変というイメージがあるかもしれませんが、この仕事は直接人の役に立つことが実感できるやりがいのある仕事です。１１年目ですが選んで良かったと思っています。ぜひ続けていってください。

☘「ありがとう」の言葉

色々な利用者様と出会ってきましたが、介助後に「ありがとね」と言われると励みになります。嫌だなぁと感じる事も多々ありますが、「ありがとう」の言葉で、まだまだ頑張ろうとなります。

☘ 人として当たり前のこと

15年も前の話。1人ではトイレに立てず、2人介助で苦労してトイレに座らせて排せついただいていた利用者。夜中でも起床時間の夜勤者しかいない時間でも2人でトイレに座らせる日々。これは意味があるのかと看護主任にぽろっと言った時、『あなたはオムツの中で排せつできる？トイレで排せつするのは人として当たり前のことで、自分の意思があるのも当たり前のこと。自分ができるのはその意思に寄り添うことだね』と言われた時、介護福祉士の自分がいったことが恥ずかしいと思った。それからは利用者への見方が少し変わった気がする。

☘ みんなが生きやすく…

福祉の世界に入ってまだ1年ちょいですが、自分が知らなかっただけで、こんなにも、福祉に携われること、仕組み、イベント、勉強する機会があるのだなと感動しました。みなさん1人1人が行動している理由は最終的に1つだと思います。みんなが生きやすく、過ごしやすい生活が送れるよう自分もこれからも仕事していきたい。

☘ 長く福祉を続ける力

これから福祉の仕事に携わる皆さんへ。大きな成功よりも、日々の小さな「ありがとう」を大切にしてください。その積み重ねが、きっと長く福祉を続ける力になります。

☘「その支援でいいと思うよ」の言葉

利用者に対しての支援が間違っているのではないのか？これでいいのか？と疑問や不安があり上司や先輩に相談したところ「その支援でいいと思うよ」と暖かい言葉をかけられ、継続したところ利用者に「ありがとう」「職員さんのおかげで頑張れる」などの感謝をされた時続けてよかったと思った。

☘ 自分が幸せじゃないと…

「じぶんが幸せじゃないと他者（ご利用者や家族）を幸せにはできない」上司からこの言葉を聞いて仕事中心の生活を振り返りワークライフバランスを意識するようになった

☘「私が生きている限り…」

この職場で働き始めた時に冗談半分で「続けて行ける気がしない」と何気なく、ご高齢の利用者に呟いた時にその方から言われたんです、「私が生きている限りはここにいて世話をして欲しいから辞めないで」と言われたんです。

☘ 自分の心は自分で守るように

利用者の見舞いに行ってしまったこと、見舞いの席で涙を見せてしまったこと、その翌日の早朝亡くなったことを、直属の上司に報告しました。優しく厳重注意されました。「自分たちが入れ込みすぎてはよくない。自分の心は自分で守るように」と教えられハッとした。

☘ 自分も理解するまで大変だったから…

上司に、「なんでも聞いてね」と言われたこと。書類のことで質問した時に言われました。「1回やってみてもまたわからなくなったら（自分も理解するまで大変だったから）同じことをわかるまで聞いて」　と言われ、上司の優しい心遣いが嬉しかった。

☘ 一番最初の担当利用者さんの言葉

病院勤務が長く、本当に様々な患者、家族があり対応でも苦慮した。日々の小さな不満は、大きくしない点は同感です。
転職し、地域で生活されている生活者が対象になった。疾患や症状と共存しながら自分らしく生活されている方々と接するなかで、「家で家族(犬)と元気に楽しく毎日送れる時間が大切で、再入院しない生活を送りたい。だから介護保険の要支援に少し助けてちょうだいね」という一番最初の担当利用者さんの言葉を忘れず毎日従事している。

☘ めっちゃいいふらしにいきます

入所や転居などで在宅介護が難しくなり、訪問介護支援を終了されるご利用者様やご家族様より「担当ヘルパーさんに大変良くしてもらった」「ありがたかった」という言葉をいただくと、担当職員のみならず、組織全体に共有したくなるほどありがたいです。めちゃいいふらしにいきます。

☘ 「ありがとう」などの一言で頑張れる

数字等で目に見える形で成果が分かる仕事ではありませんが、「ありがとう」などの一言で頑張れる仕事です

☘ 覚えてみえる方は会うたびに…

利用者さんとコミュニケーションを取りながら仕事をしていますが、ちょっとしたことでも利用者さんから『ありがとう』という言葉をもらえたときです。
それぞれ担当職員が居ますが、担当職員に頼みにくい、言いにくいという方も中には見えるかと思います。
そんなとき、頼ってもらえる事もありがたいですが、その『ありがとう』という言葉を1回だけではなく、覚えてみえる方は会うたびに言ってくれます。